



## Smart Call Home

---

Smart Call Home は、Cisco UCS Central で予防的診断を実行することによってダウンタイムを最小限に抑える自動サポート機能です。Cisco UCS Central は、システムによって生成されるリアルタイムのアラートを、Call Home の設定で指定された電子メールアドレスに送信します。[Cisco Smart Call Home のサポート ページ](#)で、既知の問題の詳細と考えられる対策に関する推奨事項を確認できます。

詳細については、『Smart Call Home User Guide』の「[Smart Call Home Web Application](#)」の章を参照してください。

Smart Call Home は、「[Smart Call Home の障害](#)」に一覧表示される Cisco UCS Central の障害に関するアラートを提供します。

Cisco UCS Manager の障害に関するアラートを受信する場合は、「[UCS Manager の Call Home の設定](#)」を参照してください。

- [Smart Call Home, 1 ページ](#)
- [Smart Call Home の設定, 2 ページ](#)
- [Smart Call Home の登録, 3 ページ](#)
- [Smart Call Home の障害, 3 ページ](#)
- [UCS Manager の Call Home の設定, 4 ページ](#)

## Smart Call Home

Smart Call Home は、Cisco UCS Central で予防的診断を実行することによってダウンタイムを最小限に抑える自動サポート機能です。Cisco UCS Central は、システムによって生成されるリアルタイムのアラートを、Call Home の設定で指定された電子メールアドレスに送信します。[Cisco Smart Call Home のサポート ページ](#)で、既知の問題の詳細と考えられる対策に関する推奨事項を確認できます。

詳細については、『Smart Call Home User Guide』の「[Smart Call Home Web Application](#)」の章を参照してください。

Smart Call Home は、「[Smart Call Home の障害](#)」に一覧表示される Cisco UCS Central の障害に関するアラートを提供します。

Cisco UCS Manager の障害に関するアラートを受信する場合は、「[UCS Manager の Call Home の設定](#)」を参照してください。

## Smart Call Home の設定

### はじめる前に

Smart Call Home を設定する前に、DNS サーバを設定する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** [System Configuration] アイコンをクリックし、[Smart Call Home] を選択します。これにより、[UCS Central Smart Call Home] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** [Basic] タブで、[Enabled] をクリックします。
- ステップ 3** 主要な連絡先の必須電子メールアドレスを入力します。  
Cisco UCS Central はこのメールアドレスの最初の登録とアラート通知を送信します。Smart Call Home をイネーブルにするために必要なものは電子メールアドレスのみです。  
**重要** 正しい電子メールアドレスが入力されていることを確認します。間違った電子メールアドレスを入力した場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。
- ステップ 4** [Advanced] で、[Throttling] と [Send System Inventory Periodically] をイネーブルにするか、ディセーブルにするかを選択します。  
[Send System Inventory Periodically] がイネーブルになっている場合は、システム インベントリを Call Home データベースに送信する間隔を指定します。または、[Basic] タブで、ツールアイコンをクリックして、[Send System Inventory Now] を選択し、その場で送信することもできます。  
(注) 初めて Smart Call Home をイネーブルにした場合は、[Save] をクリックしたときにシステム インベントリが自動的に送信されます
- ステップ 5** オプションの連絡先情報を入力します。
- ステップ 6** [Transport Gateway] で、[Enabled] をクリックして、トランスポートゲートウェイを使用して Cisco Smart Call Home ポータルと通信します。  
トランスポートゲートウェイは、Cisco UCS Central と Cisco.com の Smart Call Home サーバ間のプロキシとして機能します。  
HTTP の場合は、トランスポートゲートウェイの URL を入力します。HTTPS を使用する場合は、トランスポートゲートウェイの証明書も入力する必要があります。  
(注) 自己署名証明書のみサポートされます。トランスポートゲートウェイのセットアップ方法については、『[Transport Gateway Communication over HTTPS](#)』を参照してください。
- ステップ 7** [Profiles] で、[Basic] をクリックして、デフォルトの CiscoTAC-1 プロファイルを表示します。

(注) CiscoTAC-1 プロファイルは、Cisco UCS Central でサポートされる唯一のプロファイルです。このプロファイルは削除できませんが、受信するメッセージのデバッグ レベルを変更することができます。

- ステップ 8** [Alerts] で、プラス アイコンをクリックして、ディセーブルにするアラートを選択します。無効イベントが発生した場合は通知を受信しません。
- ステップ 9** [Configuration Status] で、Smart Call Home 設定の現在のステータスを表示できます。
- ステップ 10** [Save] をクリックします。

## Smart Call Home の登録

最初に Cisco UCS Central Smart Call Home を無効にすると、Cisco UCS Central によってシステム インベントリが Cisco Smart Call Home サーバに自動的に送信されます。自動電子メール メッセージが、入力された電子メールアドレスに送信されます。これには、Smart Call Home ポータルへのリンクが含まれます。登録の確認まで 3 ヶ月 (90 日) の猶予が与えられます。

登録後に、契約 ID を入力しなかった場合は、4 ヶ月 (120 日) の試用期間がアクティブになります。有効な契約 ID を入力した場合は、登録が完了します。登録を再度アクティブにするには、120 日の試用期間の前に、契約 ID を入力してインベントリを送信したことを確認します。

## Smart Call Home の障害

この項で説明する障害によって、ファブリック インターコネクトから Smart Call Home アラートが発行されます。Cisco UCS Central 障害の詳細については、該当する『[Cisco UCS Central Faults Reference](#)』を参照してください。

障害名	障害コード	説明
fltSysdebugCoreCoreFile	F1000005	障害はプロセスのいずれかが応答を停止したときに発生します。Cisco UCS Central によりコア ファイルが生成されます。
fltExtpolProviderProviderLostConnectivity	F10000190	プロバイダーに Cisco UCS Central のレジストリから到達できません。この障害は、通常、プロバイダー プロセスが応答を停止した場合や過剰なビジー状態でレジストリから送信されたハートビート メッセージに応答できない場合に発生します。
fltExtpolControllerControllerLostConnectivity	F10000191	コントローラに、Cisco UCS Central のレジストリから到達できません。この障害は、通常、コントローラ プロセスが応答を停止した場合や過剰なビジー状態でレジストリから送信されたハートビート メッセージに応答できない場合に発生します。

障害名	障害コード	説明
fltExtpolClientClientLostConnectivity	F10000192	登録された UCS ドメインに Cisco UCS Central のレジストリから到達できません。この障害は、通常、UCS ドメインがネットワーク アクセスを失ったり、UCS ドメイン DME プロセスが応答を停止したりした場合や、過剰なビジー状態でレジストリから送信されたハートビートメッセージに応答できない場合に発生します。
fltIdentpoolElementDuplicatedAssigned	F10000208	複数のサービス プロファイルが同じ ID を所有しています。この障害は、Cisco UCS Central が、ローカルプールからの 1 つの ID が複数のサービス プロファイルに割り当てられている可能性があることを検出した場合に発生します。
fltConfigDbConfigStats-DB-Error	F10000536	障害は、統計情報データベースの設定が間違っている場合やそのデータベースがダウンしているか、ディスク領域が不足している場合に発生します。
fltPkiTPStatus	F10000591	障害は、TrustPoint 証明書のステータスが無効になっている場合に発生します。
fltPkiKeyRingStatus	F10000592	障害は、変調証明書のステータスが無効になっている場合に発生します。
fltConfigBackupUngrouped-domain	F10000616	リモートスケジュールバックアップが失敗しました。この障害は、通常、管理者がリモートマシンに誤ったパスワード、ホスト、ユーザ名、またはパスを指定した場合に発生します。
fltStorageItemCapacityExceeded	F10000034	障害は、パーティションのディスク使用率が 70% を超えているが 90% 未満である場合に発生します。
fltStorageItemCapacityWarning	F10000035	障害は、パーティションのディスク使用率が 90% を超えている場合に発生します。
fltSmartlicenseEntitlementEnforcementModeFault	F10000750	ライセンスの権限付与が不適切です。

## UCS Manager の Call Home の設定

Cisco UCS Central の Call Home 機能を使用してドメイン グループの Cisco UCS Manager アラートを表示します。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Domain Group Navigation] アイコンをクリックして、Call Home を設定するドメイングループを選択します。  
すべての登録済みドメインのアラートを表示するには、ルートを選択します。
- ステップ 2** [Settings] をクリックして Call Home を起動します。
- ステップ 3** [Basic] で、[Enabled] をクリックして Call Home をイネーブルにします。
- ステップ 4** 必要な連絡先情報を入力します。
- ステップ 5** [Advanced] で、[Throttling] と [Send System Inventory Periodically] をイネーブルにするか、ディセーブルにするかを選択します。  
[Send System Inventory Periodically] がイネーブルになっている場合は、システムインベントリを Call Home データベースに送信する間隔を指定します。または、[Basic] タブで、ツールアイコンをクリックして、[Send System Inventory Now] を選択し、その場で送信することもできます。
- (注) 初めて Call Home をイネーブルにした場合は、システムインベントリが自動的に送信されます。
- ステップ 6** [Profiles] で、新しいプロファイルを追加したり、既存のプロファイルを削除したりできます。
- a) [Basic] : 説明と最大電子メールサイズを入力して、デバッグレベルと電子メール形式を選択します。
  - b) [Alert Groups] : 受信するアラートのタイプを選択します。
  - c) [Alert Recipients] : アラートを送信する追加の電子メールアドレスを入力します。
- ステップ 7** [Alerts] で、プラスアイコンをクリックして、ディセーブルにするアラートを選択します。  
ディセーブルのイベントが発生しても通知は送られてきません。
- ステップ 8** [Save] をクリックします。
-

